

2005年10月27日

## 京都大学未来フォーラム（第18回）を開催

時計台記念館・百周年記念ホールにおいて、恒例となった未来フォーラムが開催されました。18回目となる今回は、卒業生で華道 未生流笹岡次期家元 笹岡 隆甫氏に「秘すれば花」というテーマでご講演いただきました。

まず、音楽の流れる中、生け花の実演が披露されました。上手には五葉松を上下左右に配し、そこに大振りの百合やかすみ草が生けられ、対になる下手には、松の枝やナナカマドなど秋らしい花が生けられました。竹を帆柱に見立てた舟形の器がダイナミックで、大ホールに映えるものである一方、銀色に染められた松の枝は、明るい電気の光に慣れた我々現代人に、ひととき、谷崎潤一郎の陰影礼賛にあるような、日本のあかりを感じさせてくれる演出でした。

講演では、スライドで華道の歴史やご自身の作品の紹介をされ、伝統というものが型にはまるものではなく、常に新しいものを取り入れて変わっているのだということを、わかりやすくお話されました。

集まった315名の参加者は、生け花を体験したことのある人も多く、質疑応答にも積極的に手が上がっていました。



笹岡氏



会場の様子



司会をする矢澤 農学研究科長



舟形の器に生けられた花